

令和 6 年 6 月 6 日現在

機関番号：82611

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2020～2022

課題番号：20H01611

研究課題名(和文) 精神障害者就労支援における当事者視点の評価とサービス品質の自己管理システムの開発

研究課題名(英文) Development of a user-led evaluation and self-monitoring system for employment service quality in mental health service agencies

研究代表者

山口 創生 (Yamaguchi, Sosei)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部・室長

研究者番号：20611924

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、個別型援助付き雇用フィデリティ(JiSEF)の自己評価システムを評価すること、当事者視点の項目も新設し評価することを目的とした。4年間の調査の結果、調査員評価によるJiSEF得点と自己評価によるJiSEF得点は相関した。また、調査員評価によるフィデリティ得点は機関就労率と有意かつ正の中程度の相関を示したが、自己評価によるフィデリティ得点と機関就労率との相関程度は低い値であった。加えて、当事者視点を加えたフィデリティ項目は、機関就労率との有意な相関を示すことはなかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、援助付き雇用の再現性という文脈で就労支援の自己評価と当事者視点の評価を試みた。その結果、自己評価より第三者調査員による評価が、機関就労率(アウトカム)と関連した。また、当事者視点の項目は必ずしも機関就労率と関連しなかった。よって、就労支援の質の向上は、外部評価のシステム作りが重要になる示唆された。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to: (i) evaluate the self-assessment system for the Individualized Supported Employment Fidelity scale (JiSEF), and (ii) evaluate items from the service users' perspective.

Over a four-year investigation, a significant correlation was observed between the JiSEF scores based on reviewers' ratings and self-assessment. Additionally, reviewer-rated fidelity scores demonstrated a significant and moderately positive correlation with employment rates across the participating agencies. The correlation between self-assessed fidelity scores and employment rates was lower than that with reviewer-rated fidelity. Moreover, the fidelity items that included the service users' perspective did not show a significant correlation with agency employment rates.

研究分野：精神障害

キーワード：就労支援 精神障害 フィデリティ 援助付き雇用 支援の質

1. 研究開始当初の背景

精神障害者に対する効果的な就労支援の実装・普及は喫緊の課題である。日本を含め国際的に、個別型援助付き雇用モデルあるいはその一形態である **Individual Placement and Support (IPS)** モデル (以下、両モデルを合わせて **IPS-SE**) は、高い就労率や長い就労期間をもたらす効果的な就労支援としてエビデンスを蓄積してきた。**IPS-SE** に対する国際的関心は適切な社会実装や普及に移行している。この文脈で、**IPS-SE** の適切な社会実装を促進し、サービスの品質を管理するために国際的に開発・使用されているツールがフィデリティ尺度である。フィデリティ尺度は、ある事業所が **IPS-SE** を実施する場合に、組織構造やサービス内容 (例: ケースロード数や個別支援に費やす時間、定着支援の有無) 等について、元モデルをどの程度再現できているかという観点に基づきサービスの質を評価する尺度 (チェックリスト) である。また、その得点が高いほど、再現性やサービスの質が高いことを意味する。日本においても、援助付き雇用のフィデリティ尺度 (**JiSEF**) が開発され、その得点と機関就労率との正の相関が確認されている。しかしながら、フィデリティ尺度には 2 つの課題がある。第 1 に当事者の視点が反映された項目が尺度に含まれていないこと、第 2 に第 3 者評価のコストである。特に後者について、代替手段として、フィデリティ尺度を用いた自己評価が、現実的なサービス品質管理システムとして機能するかについて、国際的な関心が集まっている。

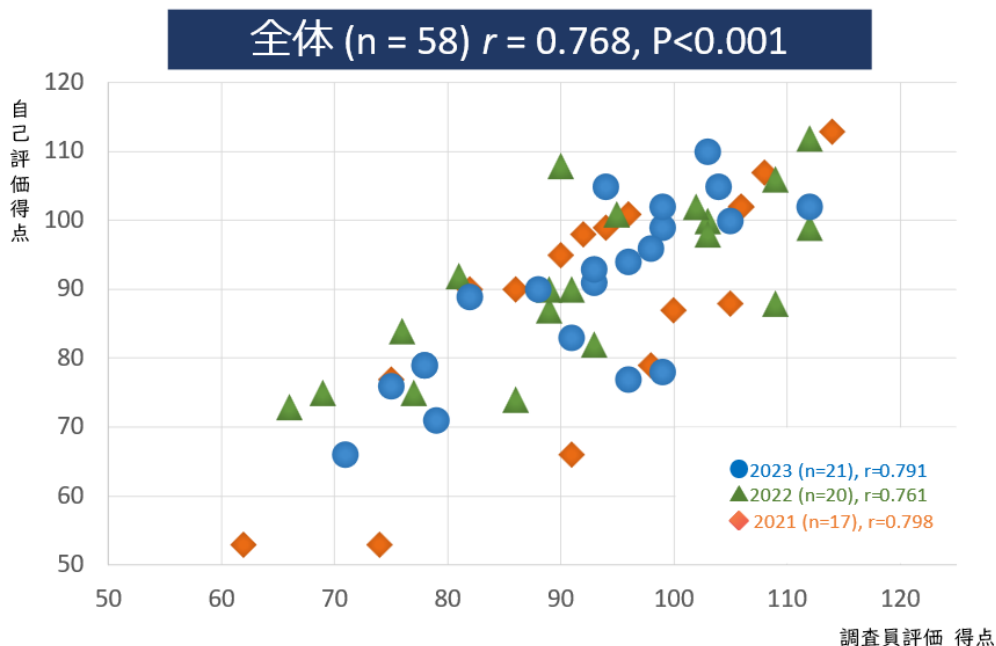
2. 研究の目的

本研究の目的は、当事者視点の新項目を作成し、就労アウトカムとの関連を検証すること、および第 3 者調査員によるフィデリティ評価と自機関職員によるフィデリティ評価の **JiSEF** 得点の相関そして就労アウトカムとの関連を検証することであった。

3. 研究の方法

調査員評価と自己評価によるフィデリティ (**JiSEF**) 得点の比較について、2021 年から 2023 年度の 3 年間、各年度の 10 月から 3 月の間に調査員が各事業所を訪問し、フィデリティ評価を行った。各機関の担当スタッフは、調査員評価の前に自機関のフィデリティについて自己評価を実施した。その後、2 つの評価方法から得た得点を比較した。当事者視点の新項目については、**IPS-SE** の利用者に対するインタビュー調査を実施し、その回答を基に、既存のフィデリティ尺度 (**JiSEF**) の項目と重ならない項目のドラフトを作成した。次に、**IPS-SE** の関係者とのミーティングを通して、試験的な項目を開発した。作成した項目は、フィデリティ調査の際に既存項目と一緒に使用し、就労アウトカムとの相関係数を算出した。

図1 調査員評価得点と自己評価得点の相関

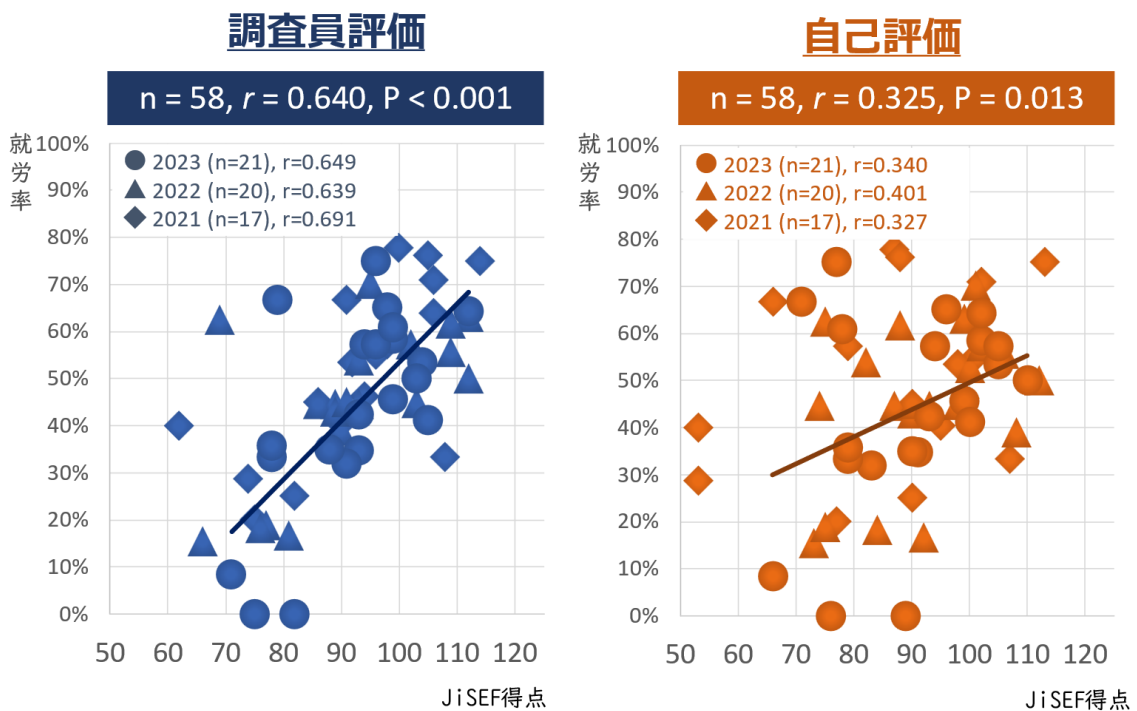


4. 研究成果

3年間で合計58回のフィデリティ調査が実施された。調査員評価と自己評価によるフィデリティ (JiSEF) 得点は有意な相関関係にあった (図 1)。また、調査員評価と自己評価によるフィデリティ得点は機関就労率と有意かつ正の中程度の相関を示したが、自己評価によるフィデリティ得点と機関就労率との相関係数は、調査員評価と機関就労率との相関係数に比べて低い値であった (図 2)。また、当事者視点を加えたフィデリティ項目は、機関就労率との有意な相関はなかった。

調査の結果から、当事者視点の項目は継続した検討の必要性が示唆された。また、フィデリティの自己評価は、自機関の IPS-SE の再現度を確認する際に、調査員評価が難しい場合の代替手段として有用である可能性がある。しかしながら、就労アウトカムとの関連を考慮すると、第三者調査員による評価がより推奨される。

図2 フィデリティ (JiSEF) 得点と機関就労率との相関



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Yamaguchi Sosei, Sato Sayaka, Shiozawa Takuma, Matsunaga Asami, Ojio Yasutaka, Fujii Chiyo	4. 巻 49
2. 論文標題 Predictive Association of Low- and High-Fidelity Supported Employment Programs with Multiple Outcomes in a Real-World Setting: A Prospective Longitudinal Multi-site Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Administration and Policy in Mental Health and Mental Health Services Research	6. 最初と最後の頁 255 ~ 266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10488-021-01161-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi Momoka, Yamaguchi Sosei, Sato Sayaka, Shiozawa Takuma, Matsunaga Asami, Ojio Yasutaka, Fujii Chiyo	4. 巻 46
2. 論文標題 Influence of multi-aspect job preference matching on job tenure for people with mental disorders in supported employment programs in Japan.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Psychiatric Rehabilitation Journal	6. 最初と最後の頁 101 ~ 108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/prj0000541	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口創生, 川口敬之, 塩澤拓亮	4. 巻 65(4)
2. 論文標題 統合失調症の心理社会的支援	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 精神医学	6. 最初と最後の頁 479-487
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口創生, 五十嵐百花	4. 巻 125
2. 論文標題 IPS研究の最前線 Individual Placement and Supportの効果に関する系統的レビューのミニレビュー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 677-687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口創生, 塩澤拓亮, 川口敬之	4. 巻 38(7)
2. 論文標題 統合失調症の社会的支援の現状	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 815-820
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口創生	4. 巻 17(4)
2. 論文標題 就労にまつわる「思いこみ」あるある	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 こころの元気+	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐百花, 山口創生, 佐藤さやか, 塩澤拓亮, 松長麻美, 小塩靖崇, 藤井千代	4. 巻 125
2. 論文標題 IPS型就労支援を利用した精神障害をもつ人における就職・就労週数の予測要因	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 183-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57369/pnj.23-027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口創生, 曾雌崇弘, 永田真一	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 就労継続支援B型事業所を利用する精神障害当事者における一般就労への関心に関連する要因: 横断調査データの機械学習分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 職業リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 11-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Sosei, Sato Sayaka, Ojio Yasutaka, Shiozawa Takuma, Matsunaga Asami, Taneda Ayano, Sawada Utako, Yoshida Koji, Fujii Chiyo	4. 巻 41
2. 論文標題 Assessing stable validity and reliability of the Japanese version of the individualized supported employment fidelity scale: A replication	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 248 ~ 254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12172	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口創生	4. 巻 7
2. 論文標題 援助付き雇用プログラムのサービスの見える化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神科臨床Legato	6. 最初と最後の頁 126-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口創生, 小川知子, ミツ井幸子	4. 巻 41
2. 論文標題 社会人としてみられたいのですが: 社会とのかかわり	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Progress in Medicine	6. 最初と最後の頁 539-543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Sosei, Mizuno Masashi, Sato Sayaka, Matsunaga Asami, Sasaki Natsuki, Shimodaira Michiyo, Fujii Chiyo	4. 巻 71
2. 論文標題 Contents and Intensity of Services in Low- and High-Fidelity Programs for Supported Employment: Results of a Longitudinal Survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatric Services	6. 最初と最後の頁 472 ~ 479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1176/appi.ps.201900255	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 7件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Yamaguchi S
2. 発表標題 Evidence based effective community mental health services and its implementation
3. 学会等名 25th Anniversary Congress of the Korean Society for Schizophrenia Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山口創生
2. 発表標題 精神障害者に対する効果的な就労支援の普及に向けて：IPS援助付き雇用モデルの実装と現在地
3. 学会等名 7回実装科学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口創生
2. 発表標題 ソーシャルインク ジョンの拡大：ゲームチャンジャ としてのIPS援助付き雇用
3. 学会等名 就労支援フォーラムNIPPON 2021（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口創生，林輝男，池田真砂子，久永文恵
2. 発表標題 IPSの視点に学ぶ就労支援の検証：今日も実施したその支援に疑いを持っていないか？
3. 学会等名 就労支援フォーラムNIPPON SUB FORUM（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口創生
2. 発表標題 精神障害者に対する援助付き雇用のサービスの質とアウトカムの比較：実臨床場面における多施設共同縦断研究
3. 学会等名 第9回日本精神保健福祉学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口創生
2. 発表標題 援助付き雇用IPSモデルの概観
3. 学会等名 第4回世界の職業リハビリテーション研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香田真希子，池田真砂子，大島みどり，本多俊則，山口創生
2. 発表標題 IPSって、実際どうなの？～皆さんの疑問にひたすらお答えします～
3. 学会等名 リカバリーフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山口創生
2. 発表標題 就労支援に役立つ評価表
3. 学会等名 2020年度大阪府作業療法士協会就労支援研修（招待講演）
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 山口創生	4. 発行年 2024年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 3
3. 書名 定着支援（書籍名：福祉職のための精神・知的・発達障害者アウトリーチ実践ガイド）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

統合失調症を持つ当事者に対する効果的な就労支援とサービス内容を「見える化」 https://www.ncnp.go.jp/topics/2020/20200107-1.html
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小池 純子 (Koike Junko) (00617467)	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部・リサーチフェロー (82611)	
研究分担者	吉田 光爾 (Yoshida Koji) (30392450)	東洋大学・ライフデザイン学部・教授 (32663)	
研究分担者	松長 麻美 (Matsunaga Asami) (70511129)	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部・リサーチフェロー (82611)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------